

寝屋川市
第 2 期国民健康保険保健事業実施計画
(第 2 期データヘルス計画)

中間評価

令和 3 年 3 月

寝屋川市 健康部 健康づくり推進課

1 概要

寝屋川市では、健診結果、レセプト情報等を分析し、実情に応じた健康課題・目標を明確にした上で、効果的な保健事業を実施するため、寝屋川市第2期国民健康保険保健事業実施計画（以下、「第2期データヘルス計画」という。）を策定し、健康寿命の延伸、健康格差の縮小、及び医療費適正化を目指している。

健康づくり推進課では、国民健康保険被保険者に対し、糖尿病を始めとする生活習慣病対策、重症化予防等の実施及び事業評価を毎年行っている。

第2期データヘルス計画は、平成30年度から令和5年度までの6か年を計画期間として策定しており、令和2年度は中間評価の年度となっていることから、以下のとおり中間評価・見直しを実施した。また、大阪府国民健康保険団体連合会の令和2年度保健事業支援・評価委員会ワーキングチームによる検討会（以下、「検討会」という。）において、中間評価に対する助言を受けた。

2 方法

検討会から提示された「データヘルス計画の評価・見直しの整理表」を使用し、第2期データヘルス計画に掲げる各事業について、中間評価を行った。各事業の実績値については、法定報告値やKDBデータ等を使用した。

3 外部評価

令和3年1月18日（月）に、地域連携協定に基づき実施している「特定保健指導、重症化予防事業に関する事例検討会」において、寝屋川市医師会理事、腎専門医、糖尿病専門医から助言を受けた。

また、令和3年1月28日（木）には、検討会において、有識者等から助言を受けた。

4 評価内容

別紙1のとおり

5 まとめ

現在寝屋川市では、重症化予防事業として、新規人工透析導入の予防を軸に事業を展開している。今回の中間評価において、新規人工透析患者の過去の特定健診受診歴を分析したところ、患者の約3分の2は市の特定健診を一度も受診していないことがわかった。(別紙2のとおり)重症化予防の入り口として、特定健診の受診者数を増やすことは、人工透析のハイリスク者を必要な医療・支援につなぐためにも重要であると考えられる。これまで、特定健診未受診者対策として、電話勧奨やハガキ勧奨など、様々な方法で受診勧奨を行っているが、引き続き、特定健診の受診率向上に向けた取組を強化していく必要がある。

また、未治療者に占める重症度別高血圧及び糖尿病の割合は、平成28年度以降、横ばいである。新規人工透析導入の原因疾患内訳を見ても、高血圧と糖尿病が多い状況であった。(別紙3のとおり)このことから、新規人工透析導入患者を減らすために、高血圧と糖尿病の未治療者を受診へつなげていくことが重要だと考えられる。そのため、特定保健指導と重症化予防事業の未利用者への対策を強化し、一人でも多くの人を適切な医療につなげ、継続して受診できるよう支援する必要がある。

継続受診の支援に当たっては、かかりつけ医や専門医との連携が重要となる。現在、専門医との連携については、地域連携協定に基づく事例検討会を実施するなど、取組を進めている。しかしながら、かかりつけ医との連携については、情報共有をするための関係構築が必要であるなど、今後の課題である。この課題の解決に向け、令和2年度から「返信用健診情報連絡票」を活用し、診療方針を共有するなど、市の保健師とかかりつけ医の関係構築及び連携強化を進めている。また、かかりつけ医と専門医が、糖尿病性腎臓病に関する最新の知見を共有するとともに、連携強化の契機となるよう、市内医療従事者向けの糖尿病性腎臓病研修会を実施する予定である。これらの取組を通じ、病診連携の強化に向けた関係構築を図っていく。

今回の中間評価を受け、第2期データヘルス計画の目標値や事業の方向性に大きな変更や見直し等はない。今後も、目標の達成及び令和5年度の最終評価に向け、引き続き、各事業を進めていく中で、健康寿命の延伸、健康格差の縮小及び医療費適正化に取り組んでいく。

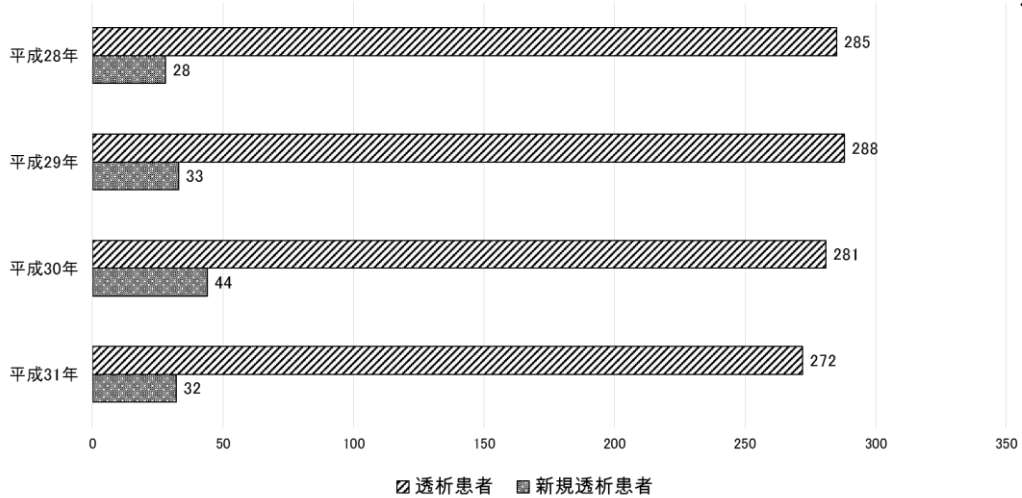
図表 78 様式8データヘルス計画の評価・見直しの整理表

STEP1 データヘルス計画全体の目標							STEP4			
指標	目標値	実績値				評価	達成につながる取組・要素	未達につながる背景・要因	今後の方向性	目標値
		ベースライン	H29年度	H30年度	R1年度					
被保険者一人当たり年間医療費	減少	(H27) 359,058円 (H28) 368,262円	375,679円	382,665円	未	b		中間評価の時点では、評価が困難。	各事業の見直しを行うとともに、健診未受診者対策や保健事業未利用者動員、医療への受診動員をより強化していく。	減少
新規透析患者数	減少	33	32	44	33	b		新規透析患者の背景として、健診受診率、保健指導利用率が低い。	・健診未受診者対策や保健事業未利用者動員をより強化していく。 ・医師会との連携を強化し、個別性に沿った事業を展開していく。	減少

STEP2 上記目標を達成するための個別保健							STEP3				
事業名	指標	目標値	実績値				評価	成功要因	未達要因	事業の方向性	目標値
			ベースライン	H29年度	H30年度	R1年度					
特定健診	受診率	60%	(H28) 36.5%	36.8%	35.5%	36.1%	b	・治療中の人が多く、健診を受診していない ・まばら受診が著しい連続受診へ移行していない	・医師会と連携し、かかりつけ患者への受診動員の協力を得る ・AIを活用した効果的な未受診者対策を進めていく	60%	
特定保健指導	実施率	60%	(H28) 21.4%	23.9%	25.4%	30.4%	a*	・国に合わせた目標にしているが実態に即していない ・マンパワーが不足しており、未利用者に対する十分なアプローチができていない	・実施率は伸びているため目標は継続していく。 ・未利用者に対する十分なアプローチを行っている。	60%	
高血圧重症化予防対策	未治療者に占める重症度別高血圧患者数	減少	(H28) I 1887 II 487 III 126	I 1753 II 393 III 68	I 1737 II 436 III 59	I 1550 II 361 III 67	b	・保健指導参加者に偏りがある。 ・マンパワーが不足しており、未利用者に対する十分なアプローチができていない。	・集団保健指導から個別保健指導に変更し、個別性に沿った事業を行う。 ・薬剤師会と連携し、未治療者への受診動員を強化する。	減少	
糖尿病重症化予防対策	未治療者に占める重症度別糖尿病患者数	減少	(H28) 6.5-6.9% 328 7.0-7.9% 130 8.0%以上 91	6.5% 1 256 7.0% 1 111 8.0% 1 40	6.5% 1 232 7.0% 1 114 8.0% 1 40	6.5% 1 270 7.0% 1 181 8.0% 1 36	b	・保健指導参加者に偏りがある ・マンパワーが不足しており、未利用者に対する十分なアプローチができていない。	・集団保健指導から個別保健指導に変更し、個別性に沿った事業を行う。 ・薬剤師会と連携し、未治療者への受診動員を強化する。	減少	
糖尿病性腎症重症化予防事業	新規透析導入数(糖尿病レセプトあり)	減少	(H28) 14 (内高血圧併発12人)	19 (内高血圧併発15人)	13 (内高血圧併発5人)	18 (内高血圧併発16人)	b	中間評価の時点では、評価が困難。	・対象者選定基準を変更し、より早期介入を目指す。 ・糖尿病患者の適宜及び血圧管理を強化する。	減少	
たばこ対策	性・年齢階級別喫煙率	減少	(H27) 【男性】 40-49歳 41.1% 50-59歳 40.4% 60-69歳 29.7% 70-74歳 22.3% 【女性】 40-49歳 21.4% 50-59歳 17.4% 60-69歳 9.9% 70-74歳 4.3%	【男性】 40-49歳 34.9% 50-59歳 35.1% 60-69歳 26.8% 70-74歳 22.0% 【女性】 40-49歳 18.6% 50-59歳 18.9% 60-69歳 9.9% 70-74歳 4.5%	【男性】 40-49歳 35.5% 50-59歳 37.4% 60-69歳 25.9% 70-74歳 21.6% 【女性】 40-49歳 15.7% 50-59歳 18.3% 60-69歳 7.2% 70-74歳 5.2%	未	b	禁煙の有効性に対する情報提供が十分に入っていない。	禁煙外来実施可能医療機関を把握し、リストを作成、喫煙該当者の内希望者に個別面談等で情報提供を行う。 上記に加え、受動喫煙防止条例に関する情報提供も行う。	減少	
ポピュレーションアプローチ	参加者数	①健康づくり実践講座 174人以上 ②どこでも健康教室 83人以上	(H28) ①352人 ②55人	①349人 ②74人	①418人 ②112人	①41人(一部限止のため減額) ②106人 ※①はR1年度で廃止	①d ②a	ポスターやチラシのデザインを工夫した。	教室内容を再検討し、愛媛川市の健康課題に沿ったポピュレーションアプローチを展開していく。		
がん検診	受診率	乳がん検診(マンモグラフィ)受診率4.0%以上	(H28) 胃がん検診2.36% 肺がん検診2.99% 大腸がん検診4.42% 乳がん検診4.02% 子宮がん検診5.22%	胃がん検診2.72% 肺がん検診3.45% 大腸がん検診5.09% 乳がん検診4.21% 子宮がん検診5.02%	胃がん検診2.53% 肺がん検診3.29% 大腸がん検診4.59% 乳がん検診4.48% 子宮がん検診4.88%	胃がん検診2.39% 肺がん検診3.09% 大腸がん検診4.54% 乳がん検診3.96% 子宮がん検診4.81%	b	市民に向けて受診動員を行ったが、効果的な受診動員とはならず、受診者の増加につながらなかった。	今までは集団検診の受診動員を主にしていたが、現在は個別検診の受診動員も積極的に行う。	胃がん検診3.1% 肺がん検診4.2% 大腸がん検診5.2% 乳がん検診4.4% 子宮がん検診4.7%	
成人歯科健康診査	受診率	10%以上	(H28) 8.9%	9.9%	11.2%	11.3%	a	H30年度から受診券(ハガキ)のデザインを変更し、フルカラー印刷とした。	受診券(ハガキ)のデザインを随時変更し、更なる受診率向上を目指す。	12%	
ワガヤ健康ポイント事業	応募者数	応募者数 1,000人以上	(H28) 685	502	2,031	2,536	a	ポイント対象事業を通知し、市民が参加しやすい環境を整えた。	令和2年度事業終了	令和2年度事業終了	
骨粗しょう症予防教室	精密検査受診率	向上	(H28) 7.2%	8.1%	5.3%	7.8%	a	40歳から70歳の5歳刻みの人に受診動員レターを送付した。	要精密検査の未受診者に電話などで受診動員を行っている。 若年層への骨粗しょう症予防を進めたいくため、若年層が集まる場へ向かい、教室を行う。	8%	
後発医薬品利用者	利用率(国目標に準ずる)	80%	(H28) 67.3%	69.8%	74.2%	76.6%	a	後発医薬品差額通知送付等による継続的な利用普及に努めたが、利用への意識が十分に浸透しておらず、目標としていた利用率までは、到達しなかった。	引続き、後発医薬品差額通知の送付を行うとともに、被保険者証更新時にジェネリック医薬品差額シールを同封し、利用普及に努める。 また、他の利用普及に繋がる取組みの検討を行う。	80%	

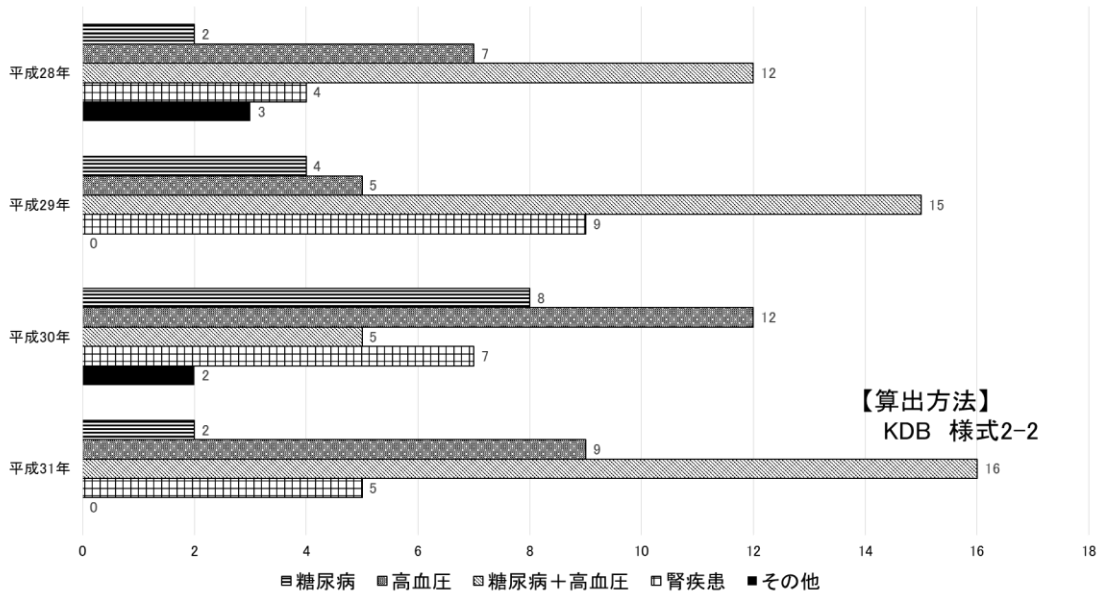
※評価表記について a: 改善している、b: 変わらない、c: 悪化している、d: 評価困難。「a」が、現状のままでは最終評価までに目標達成が危ぶまれるものを「a*」と記載

人工透析患者数の推移



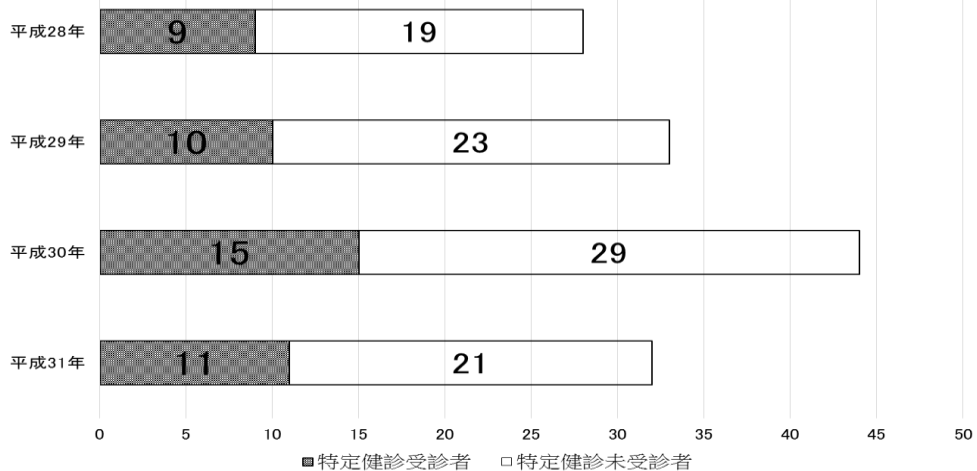
【算出方法】KDB 様式 2-2 より透析患者の名簿を作成し、新たに名前が追加された者を人工透析患者とみなし算出。

新規透析導入患者原因疾患内訳



【算出方法】
KDB 様式2-2

新規人工透析患者の特定健診受診者数



【算出方法】当課システムで算出。当該年度までに一度でも特定健診を受診している場合は、受診有に加算。

別紙 3

【未治療者に占める重症度別高血圧割合】

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
I	22.5%	22.9%	22.5%	23.3%
II	5.4%	5.6%	5.8%	5.8%
III	1.3%	1.1%	1.1%	1.3%

【未治療者に占める重症度別糖尿病割合】

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
6.5-6.9%	2.3%	2.4%	2.2%	2.7%
7.0-7.9%	0.9%	1.1%	1.1%	1.2%
8.0%以上	0.7%	0.5%	0.6%	0.6%

【算出方法】

当課使用のシステムで算出

→重症度別高血圧及び糖尿病未治療者数/当該年度高血圧及び糖尿病未治療者数

寝屋川市第 2 期国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）

中間評価

令和 3 年 3 月

発行：寝屋川市健康部健康づくり推進課

所在地：〒572-8533 大阪府寝屋川市池田西町 28 番 22 号

T E L : 072-812-2374 F A X : 072-812-2116